

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ブリヂストン（証券コード:5108）

### 【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	AA+ 安定的
-------------------	------------

### ■格付事由

- （1）タイヤ世界首位級で仏ミシュランと並ぶ。高い技術力と幅広いラインナップ、グローバル主要市場での高い現地生産比率、充実した販売ネットワークなどが強みである。当業界では低インチタイヤのコモディティ化が進み、収益性の下押し圧力になっている。そのような中、当社は2030年長期戦略アスピレーション及び中期事業計画において、プレミアムタイヤの販売強化、ソリューション事業（リトレッド、鉱山ソリューション、小売・サービス、モビリティソリューションなど）の拡充を図っている。
- （2）厳しい事業環境の中でも、収益性重視の施策が利益水準の回復に結びついている。コスト面では、生産の現地化が進んでいること（鉱山車両用を除く）が近時の海上運賃高騰の影響緩和につながってきた。中期事業計画で進めてきた、非タイヤ事業を中心とした生産拠点と事業の再編も一段落した。堅固な事業基盤を踏まえれば、プレミアムタイヤの販売強化などにより中期的に利益水準の維持向上は可能と考えられる。投資は収益性の高い事業に集中する方針であり、財務構成は現状レベルを維持できると想定される。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- （3）22/12期調整後営業利益（IFRS適用で、事業・工場再編費用や固定資産減損損失など非経常的な損益を調整した利益）は前期比22.4%増の4,826億円で、中期事業計画の23/12期目標「4,500億円レベル」を前倒し達成した。売値・MIX改善によって原材料・海上運賃高騰などの影響を吸収した。23/12期調整後営業利益は同5.7%増の5,100億円の計画。原材料価格上昇が引き続き減益要因となるが、売価改定の浸透が増益に貢献する見込みである。中長期的には環境性能と運動性能を両立するタイヤ技術「ENLITEN」の搭載率向上と高インチ比率向上、ソリューション事業の拡充が利益率向上に貢献すると考えられる。
- （4）財務面では22/12期は原材料価格上昇で棚卸資産が増加したが、利益蓄積などにより自己資本比率は22/12期末59.8%（21/12期末57.5%）と改善した。今後、プレミアムタイヤの増強・ソリューション事業などへの戦略投資が想定されるが、一定のフリーキャッシュフローの黒字を確保する見通しである。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

### ■格付対象

発行体：株式会社ブリヂストン

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA+	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年4月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「タイヤ」(2014年5月8日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社ブリヂストン
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル